

カバノキ科 ハンノキ属

# ハンノキ (榛の木)

*Alnus japonica* (Thunb.) Steud.

## 自生環境

湿地、水辺 など

## 原産地

日本在来

## 生育を脅かす要因



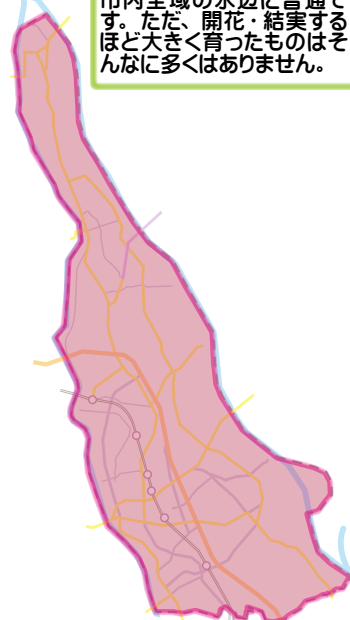
水辺に最も普通に生える樹種のひとつです。今のところ絶滅の心配はありませんが、埋め立てや河川改修、伐採などの人間活動の影響を受けやすい傾向にあります。

## 特徴

- ☆ ヤナギの仲間とともに、平地の水辺を代表する樹種で、樹高 10 ~ 20m に達する落葉高木です。しばしばハンノキ林と呼ばれる湿地林をかたちづくれます。
- ☆ 雌雄同株ですが、雄花と雌花の別があります。雄花は多数集まって長さ 5cm 程度の穂になって垂れ下がります。雌花も小さく、多数が集まって 1 つの丸い穂となります。雌花の穂は上向きで、赤い雌しべが目立ちます。
- ☆ 花期は 11 ~ 翌 4 月頃で、暖かい場所では葉のない時期から咲きはじめます。風媒花で、雄花の穂は揺ると黄色い花粉がまるで煙のように舞い、花粉症の原因となります。

## 市内の分布状況

市内全域の水辺に普通です。ただ、開花・結実するほど大きく育ったものはそんなに多くはありません。



## ミドリシジミを育む

ミドリシジミはチョウ目シジミチョウ科に分類される蝶で、成虫は年 1 回、梅雨時期に出現します。雄は翅を広げると、光の加減で緑色に輝き、まさに「生きた宝石」です。成虫は飛びまわってクリの花などの蜜を吸いますが、幼虫はハンノキの葉を食べて育ちます。ハンノキがなくなると、途端にミドリシジミの輝きも消えてしまいます。生きもののつながりとは、そういうものなのです。



果実の穂

開花前の雄花の穂。  
野田市での開花は  
年明け以降が多い



ミドリシジミ。  
幼虫は  
ハンノキを  
食べて育つ



雌花

小さくて  
見つけづらい

大量の花粉を  
空中に飛ばす  
雄花



小さな松かさのような部分の  
すき間にタネが入っている

タネは直径 3 ~ 4mm  
平べったいかたち



わぴちゃんねる 千葉県野田市の植物を動画で紹介!

<https://www.youtube.com/channel/UCJvrXBjegnWATWd-UZsNzCA>

